

白杵市 施策評価シート

(令和5年度)

評価 担当課	課名
市民課	

コード	VII-21-51	施策名	交通安全対策の推進
まちづくりの 目標	豊かな自然環境で市民が潤い、活力あふれるまち(生活環境)	施策の方針	安心安全な暮らしを守り支える
5年後の めざす姿	市民一人ひとりが交通ルールを守り、交通事故のない安全で快適な交通社会の実現を図ります。正しい交通マナーを守るよう交通安全教育や啓発活動に取り組み、安心して生活できる交通安全対策や環境整備を目指します。		
施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回(春・夏・秋・冬)実施される交通安全運動及び毎月1日の「交通マナーアップの日」、20日の「県民交通安全日」による街頭啓発及び年間通しての広報及び啓発活動により、市民の交通安全意識の向上が図れるよう取組む。 ・高齢者の事故防止に向けて、参加型交通安全教室の実施や警察、交通安全協会等と連携した交通安全講習などを実施します。 ・重大事故の防止に向けて、交通安全施設(カーブミラー)の整備や維持修繕管理を行います。 		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移						
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6
	市民1,000人あたり市内交通事故件数	人身事故件数(物損事故除く) 【白杵津久見警察署調べ】	目標	件	2	2	2	2	2
			実績	3	2	2	2	2	
			達成率	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	市内で発生した交通事故の内、65歳以上の歩行者や運転者が関係する交通事故割合	人身事故割合(物損事故除く) 【白杵津久見警察署調べ】	目標	%	50	50	50	45	45
			実績	47	40	39	30	38	
			達成率	%	125.0%	128.2%	166.7%	84.4%	
	運転免許証の自主返納支援制度申請件数(年間)	高齢及び病気等で運転免許証を返納した件数(年間)	目標	件	250	250	250	250	250
			実績	275	226	230	205	188	
			達成率	%	90.4%	92.0%	82.0%	75.2%	
	市及び交通安全関係団体が実施する交通安全講習などの市民参加率	参加者の割合(人口1,000人あたり)	目標	%	5.0	10.0	10.0	10.0	10.0
			実績	2.0	2.5	2.4	2.5		
			達成率	%	40.0%	25.0%	24.0%	25.0%	
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
			目標						
			実績						
			達成率	%					
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	交通事故関連の指標は目標到達している。市内の交通事故件数の内、人身事故件数は65件で高齢者が当事者となる事故件数は25件(38.5%)と、高齢者が当事者となる事故割合は依然として高い状況にある。交通安全の講習・講座は、白杵津久見警察署及び交通安全協会等の協力のもとで開催しており、地区及び関係機関等との連携を継続しつつ、高齢者等の事故防止・抑止に繋がる交通安全講話等を実施している。						
		指標達成に向け今後の流れ	交通事故発生件数を減少させるためには、市民の交通安全意識の向上と法令順守が重要であり、横断歩道での一旦停止など交通マナーの徹底を、運転手のみならず歩行者にも行う必要がある。対象に応じた啓発・情報共有の方法を実施することで交通事故の抑制に努める。						

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	満足度
向上領域	2.56	2.01	2.01
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域		浸透度	88.20%
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	向上領域	検討領域	向上領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R4年度実績	R5年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1	カーブミラー修繕事業	市民課	3,505	1,913	無	—	—	—	
2	交通安全関係団体補助事業	市民課	2,338	2,430	無	—	—	—	
3	交通安全対策整備事業	市民課	8,979	8,853	有	やや遅延	貢献度中	強化	
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計			14,822	13,196	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

<次年度以降の課題>

交通安全に対する市民意識の向上は、研修会を中心に様々な手法で啓発することが重要である。対象者によってインターネットやLINEなどを活用することも必要となる。
交通安全施設整備事業は、市が管理する公道の危険箇所を解消する整備であるが、地域からの要望件数も多く、全てに対応できていない現状であるため、発注方法の見直しに加えて予算規模の拡大も視野に入れ、早期に危険箇所の整備を行うことが必要である。

施策の評価（今後の施策の方向性）

評価の選択肢 ○ 向上 … 現状の通り維持向上する ○ 強化… 現状より強化を図る
○ 見直し … 現状を見直し適正化を図る ○ 検討… 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>…評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	交通安全意識の向上を図るためには、国などの啓発事業と連携した取組も効果的であり、講習などを通じて法令遵守などの規範意識が醸成される。 交通安全施設整備事業は、効率的な予算執行と予算規模拡大により、効果的かつ広範囲での事業展開を図る。 危険箇所に応じた、適正な交通安全施設設置により、事故防止や重大事故の抑制を図る。 また、施設整備のみならず啓発や教育などにも注力し、市民の交通安全意識の向上に向けた効果的な事業を推進する。